

# 小学6年 社会科「戦国の世から天下統一へ」

柏市立柏第二小学校 涌井 隆充

## 1. 単元目標

- 世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などについて，地図や年表，その他の資料で調べ，キリスト教の伝来，織田・豊臣の天下統一を理解している。（知識及び技能）
- ◎世の中の様子，人物の働きや文化遺産などに着目して，問いを見いだし，キリスト教の伝来，織田・豊臣の天下統一について考え表現している。（思考力・判断力・表現力等）
- キリスト教の伝来，織田・豊臣の天下統一について，予想や学習計画を立てたり，学習を振り返ったりして，学習問題を追究し，解決しようとしている。（学びに向かう力，人間性等）

## 2. 情報活用能力育成をめざす単元づくり（全8時間扱い）

### (1) 単元について

高度情報化が進展する現代社会において，コンピュータを活用して情報を集めて分析し，問題解決に取り組み，発信するといった情報活用能力が重要視されている。本単元では，キリスト教の伝来，織田・豊臣の天下統一を手掛かりに戦国の世が統一されたことを理解できるように地図や年表，その他の資料で調べ，戦国の世の統一に果たした織田・豊臣の役割を考えていく。膨大な情報を収集・整理・比較・表現・発信することを通して，主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や，学習してきたことを基に戦国の世が統一されたことを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。

### (2) 学習計画

	時	学習内容	留意点
1 課題の設定	1	○戦国時代の様子について，「長篠の戦い」の写真をもとに見つけたこと，思ったこと，疑問などを話し合い，学習問題を作る。 ○今後どのような観点で，織田信長と豊臣秀吉について調べていくか，出し合った疑問をもとに話し合う。 ・「織田信長，豊臣秀吉はどのようにして戦国の世を治めていったのだろうか」 ・「天下統一に向けての働きが大きかったのは信長と秀吉のどちらだろうか」	・両軍の違いに着目させて信長の戦い方に関心を持たせる。 ・Jamboardに「長篠の戦い」の写真を載せてグループごとに書き込ませる。 ・グループで話し合ったことをクラスで共有し，全体で学習問題を考える。
2 情報の収集			
3 整理・分析			
4 情報の収集	2 3	○日本と外国のかかわりについて調べる。 ○信長と秀吉をどのような項目で比べるか話し合う。 ○織田信長の戦いと政治の様子について調べる。  ○織田信長について調べたことを項目ごとに整理する。	・この頃の世界の様子や，キリスト教がどのように伝わってきたのかを，教科書の地図を活用して捉えさせる。 ・「安土城の城下町」や「安土城の位置」から，安土城の意義を考える。 ・秀吉の調べ学習の参考となるように，情報収集の観点について確認し，調べたことをJamboardに書きこんで保存する。
5 整理・分析			

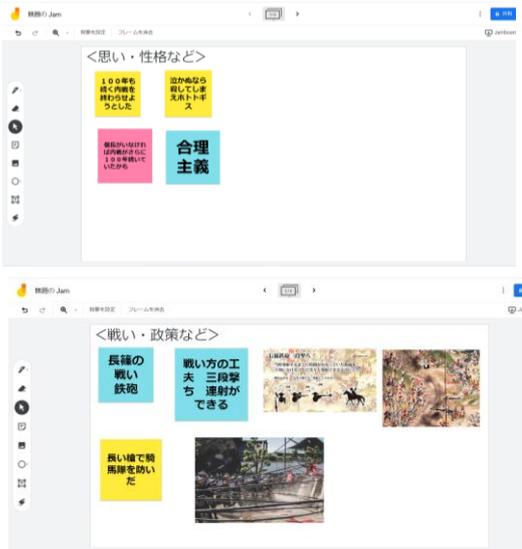
6 情報の収集	4 5	○豊臣秀吉の戦いと政治の様子について調べる。	・「検地の様子」や「刀狩令」の言葉から、それらの政策がどのような影響を与えたのかを考えさせる。
7 整理・分析		○豊臣秀吉について調べたことを項目ごとに整理する。	・調べた内容を Jamboard に保存しておき、発表資料作成に活用できるようにする。
8 まとめ・表現	6 本時 7	○天下統一に向けての働きが大きかったのは信長か秀吉か自分の考えをまとめ、調べたことをもとに発表資料を作成する。	・Jamboard に収集した情報をもとに「信長」か「秀吉」のどちらが天下統一に向けての働きが大きかったか考える。
9 振り返り・改善	8	○グループの発表を聞き、最終的な自分の考えをまとめる。	・どちらを選んだかでグループ分けを行い、スライドの共同編集機能を活用して、自分の担当ページを作成する。
			・調べた内容から、自分なりの根拠をもって学習問題に対する自分の考えを書く。

### 3. 本時について（本時 6/8 時間）

#### (1) 本時の目標

○タブレットを活用して情報を収集し、得た情報について整理してまとめる活動を通して、天下統一に向けて果たした役割について理解することができる。（知識及び技能）

#### (2) 本時の展開

時間	主な学習活動	指導上の留意点
導入 5分	<p>1.【全体の学び】前時までの学習を想起し、学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちがまとめてきた信長と秀吉の働きの資料を振り返る。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【タブレット端末】前時までの学習を想起するために、協働で Jamboard にまとめた資料を振り返る。</li> </ul>
	<p>天下統一に向けての働きが大きかったのは信長と秀吉のどちらだろうか。</p>	

展開  
①  
30  
分

2. 【個の学び】自分たちの調べた資料を基に、学習問題に対する自分の立場を明らかにする。



信長：今までの考え方や戦い方を大きく変えた。  
安土城は戦略的にすごい。

秀吉：政治の仕組みをはっきりさせた。  
身分の違いを明確にした。  
大阪城を中心に物資の流れを作った。

3. 【協働の学び①】自分が出した結論をグループで伝え合い、考えを深める。



4. 【協働の学び②】信長か秀吉か同じ主張の友達とグループを作り直す。自分たちの調べた資料を基に、二人の武将をどんな項目で比べるのか、どの情報を伝えるのかグループで整理し、役割分担する。

5. 【協働の学び③】グループで話し合った内容をもとに、相手に伝える情報をまとめる。分担した内容に基づいて、スライドに調べた情報をまとめていく。

展開  
②  
10  
分

●【タブレット端末】自分たちの調べた資料や画像をもとに学習問題に対する答えの根拠を考えさせる。

●二人の武将を比べる項目として、政治の様子・戦いの様子・国民との関わりを取り上げる。また、個人で別の項目を考えた際には、グループで扱いを相談する。

●自分の調べた情報だけで足りない場合は、Jamboard にまとめた資料も振り返りながら自分の立場を決めていくように促す。

●【タブレット端末】自分たちの調べた資料や画像の何を見せるか考えて伝えるよう促す。

●【タブレット端末】話し合った資料を基にだれがどんなスライドを作るか話し合っ決めて決める。

●【タブレット端末】スライドの共同編集機能を活用して、自分の立場の主張をまとめていく。



### (3) 情報活用能力のプロセスと育成を図るポイント

課題の設定		情報の収集		整理・分析	◎	まとめ表現	○	振り返り改善	
-------	--	-------	--	-------	---	-------	---	--------	--

#### ○整理・分析のポイント

毎時間調べた内容を項目ごとに分けた Jamboard に集めておき、本時ではそのまとめた内容をグループで見合い、伝える際に必要な情報を整理できるようにする。単元を通してそれぞれの武将について調べたり、伝える際に必要な情報を整理したりする活動を取り入れることで、情報活用能力の育成を図っていきたい。調べる能力には個人差があるため、グループで情報を収集し整理できるようにすることで、情報を補完しながら分析することができると思う。

#### ○まとめ・表現のポイント

必要な情報を収集し Jamboard にまとめておくことで、その情報をスライドにうつしてまとめることが容易になるとともに、画像など視覚的な資料を効果的に活用することができ、伝えたい内容を十分に伝えることができる。考えをまとめる際にも、自分たちのグループの主張に必要な情報を随時収集し、整理・分析することが必要となる。そのため、収集から分析、まとめ・表現までのサイクルを何回も回しながら問題解決にあたり、情報活用能力を育成するとともに、学習内容を深めることができると思う。

また、ほかのグループの発表資料を見ることも簡単にできるので、最終的に学習問題に対して自分がどのような結論を出すのか、納得のいくまで資料を見直して考えることができる。

### 実践を終えて

もともと歴史に興味をもつ児童が多くいたが、タブレットを活用してより詳しく知りたいことを調べる学習に意欲的に取り組む児童が多かった。

本単元では、クラスで共有している Jamboard に調べた情報を書きこむことで、発表資料にまとめる際に振り返りやすく、また、調べる能力の個人差をカバーすることができた。本時では、個の学びとして、今まで調べて Jamboard に収集した内容をもとに、自分なりの根拠をもって学習問題に対する答えを考えることができた。調べる能力には差があるが、Jamboard で共有することで、一人では足りない部分を補いながら情報を整理・分析し、自分の考えを表現することができた。ここでは、単元を通して何を考えさせるのか、どのような項目で情報を収集させるのかといったことを事前に教師側が考えておく必要がある。

協働の学びとして、学習問題に対する答えの根拠を考えたり相談したりする場面を設定するとともに、Jamboard を活用して収集した情報を整理・分析し、パネルディスカッションの掲示物をスライドで協働編集した。児童は、スライドの見た目にこだわったり調べたことをたくさん書いたりする傾向が強いので、大事なのはどちらの武将かを決めた根拠であり、それを分かりやすく表現するよう指導することが必要である。また、スライドのページ数を限定することで、必要な情報しか書きこむことができないようにさせることも有効であると思う。

本単元前にも鎌倉時代で「頼朝が義経を討ったことに賛成か反対か」という学習問題で調べ学習とパネルディスカッションを行った。頼朝の武士の頭としての立場や考え、腰越状の内容等、学習内容を深めるとともに歴史に対する興味・関心を高めることができるとともに、様々な場面で同じような方法で学ぶことができる。

タブレットを活用すれば、教科書の内容をさらに深く調べることができるとともに、教科書には載っていない情報を調べることもでき、より本単元のゴールに近づくことができたと思う。